



長浜市文化芸術振興ビジョン 【概要版】

第1章 ビジョン策定の趣旨

市民や文化芸術団体など文化芸術に関わる関係団体が、共通した方向性を持ち、連携して本市の文化芸術のすそ野を広げ、文化芸術による魅力あるまちづくりを進め、市民生活の充実と地域のさらなる活性化を図ることを目的とする。

第2章 策定の背景

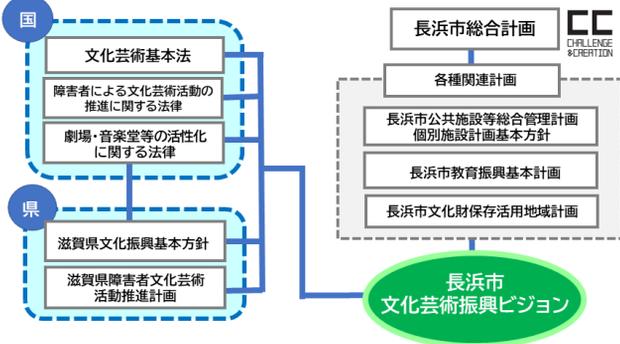
- 2度の合併（1市8町が合併）
- 豊かな自然と歴史的・文化的資源が豊富
- 進取の気性に満ちた市民気質、住民自治意識が高い

社会的状況の変化

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止による交流制限
- 情報化社会の進展（スマートフォンの普及率が非常に高い）

第3章 長浜市文化芸術振興ビジョンについて

位置づけ



ビジョンの期間

令和4年（2022年）4月～令和14年（2032年）3月 10年間

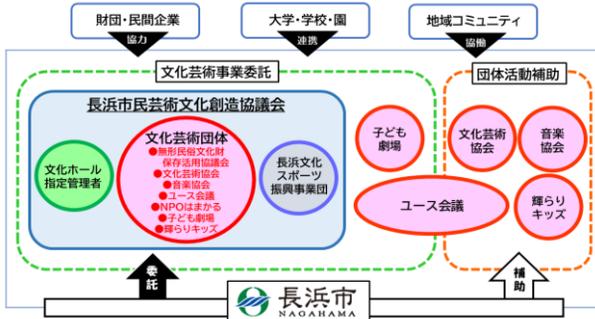
文化芸術の範囲

芸術	文学・音楽・美術・写真・演劇・舞踊・その他の芸術（メディア芸術を除く）
メディア芸術	映画・漫画・アニメーション・コンピュータ・その他のメディア芸術
伝統芸能	雅楽・能楽・文楽・歌舞伎・組踊・その他の我が国古来の伝統的な芸能
芸能	講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱・その他の芸能（伝統芸能を除く）
生活文化等	茶道・華道・書道・食文化・国民娯楽・出版物等
地域における文化芸術	各地域における文化芸術の公演・展示・芸能祭等 地域固有の伝統芸能・民俗芸能

第4章 長浜市の文化芸術に関する現状

文化芸術活動の現体系

- 長浜市民芸術文化創造協議会（芸文協）が中心となり文化芸術事業を実施している。
- 長浜文化芸術ユース会議などの新たな活動も生まれている。
- 民間企業（財団）や大学等との連携・協力関係がある。



現状

- 様々な文化芸術事業を開催している。
- 鑑賞型事業（オーケストラや和楽器などの音楽公演や演劇、伝統芸能など舞台公演等）
- 市民文化創造事業（市民オペラ制作公演、市美術展覧会、市民音楽祭など市民が主体となって活動される事業）
- 次世代育成事業（中学校吹奏楽祭や小中学校等でのアウトリーチ事業（注1）等）

（注1）アウトリーチ事業…プロの演奏家や地域で伝統芸能・文化芸術活動を行う人が、学校や施設等に直接出向き、出張でワークショップや体験教室、演奏活動などを行う事業。

- 席数が200～500席までの小中規模の文化ホールが市内に7つあり、合併後施設の選択肢が増えた結果、利用に偏りがある。
- 文化ホールは、築年数の経過による老朽化により、修繕費等の経費がかかっている。
- まちづくりセンターや民間施設等、文化ホール以外の活動施設の需要も高い。

第5章 現状からみた文化芸術活動の問題や課題

問題・課題

長浜市文化芸術推進会議にて検討（文化芸術団体ヒアリング・文化ホール利用者アンケートを実施）

ソフト面

- メンバーの高齢化・固定化・後継者不足。活動の広がり生まれず継続的な活動が難しい。
- 文化芸術に対する理解や価値が広がらず、一部のみに留まっている。
- 相談窓口や活動をつなぐ機関がない。
- 情報をまとめて確認できるツールがない。
- 誰もが文化芸術を体験できる機会や交流の場は限られている。

- ▶多くの市民に文化芸術の価値が理解され、より身近に感じてもらえるよう、特に幼少期から多様な文化芸術に触れる機会を充実させる。
- ▶文化芸術をサポートする窓口が必要。
- ▶誰もが簡単に文化芸術等の情報が得られることが必要。
- ▶多世代、多分野、多様な人々が交流できる機会を増やし、文化芸術のすそ野を広げる。

ハード面

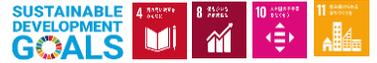
- 文化ホールがいずれも小中規模で、興行として採算が合う席数がないため大型公演等の招致が難しい。
- 説明会や総会の開催など、高機能な舞台照明や音響設備等を必要としない利用目的が多い文化ホールもあり、その他の施設（まちづくりセンター等）の使い分けが求められている。
- 文化ホールの維持管理費等のハード経費が増大化し、文化芸術事業予算を圧迫している。
- 大きな音出しや備品保管等が可能な活動場所が求められている。
- 公共施設の利用予約が簡単にできない。

- ▶市民の利用目的に応じた文化ホールの運用形態を見直す。
- ▶文化芸術団体等が、日常的に活動しやすい場所等を確保する。
- ▶施設予約のデジタル化を進める。

求められていること

市民の誰もが文化芸術を親しみ愉しめること
幼少期から質の高い文化芸術が体験できること
文化芸術情報が手軽に受発信ができること
文化芸術の価値やレベルが向上すること
文化芸術を通じた交流や連携が生まれること
文化芸術活動を行う施設環境があること





■めざす将来像

豊かな文化芸術の力で 笑顔と魅力があふれるまち 長浜

文化芸術には、感性などだけではなく人や地域、全てを「豊かに」する力があります。文化芸術に関わる市民や文化芸術団体等が連携し、心の豊かさや創造力が育まれることにより、「市民のゆしみ(=笑顔)」と「地域の新たな魅力」にあふれる長浜となることをめざし、将来にわたり「活力ある長浜」であり続けます。

基本方針

つくる 市民の誰もが親しめる
長浜らしい文化芸術の創造

育てる 文化芸術感覚の醸成

支える 市民や文化芸術団体の
主体的な活動の支援

つなぐ 文化芸術により 人や地域等が
つながるコミュニティの形成

重点プロジェクト

●市民の笑顔×倍増 プロジェクト

- 幼少期や学童期から文化芸術に親しみ・参加する
機会の創出(次世代向けの文化芸術事業の拡充)
- 市民のアート感覚を育成するアートカレッジの実施
- 多種多様な文化芸術活動を一堂に会したアート
フェスティバルの開催
- 文化芸術活動のサポート機能の強化 など

●地域の魅力×生産 プロジェクト

- 地域資源とコラボレーションした文化芸術の創造
- デジタル環境の整備と情報発信力の強化
- 他分野(観光・産業・教育など)との連携強化 など

●文化ホール活用推進 プロジェクト

- 市民が利用しやすい文化芸術活動の場の整備
(文化ホール等の活用整備の推進)
- 団体活動専用施設等の設置検討 など

【文化ホール活用方針】

- 鑑賞・発表型文化ホールとして継続活用
……長浜文化芸術会館・浅井文化ホール
- 市民利用に即した機能・形態(まちづくり施設等)へ変更
……びわ文化学習センター・虎姫文化ホール
湖北文化ホール・木之本スティックホール
余呉文化ホール

第7章 具体的な取組

つくる 市民の誰もが親しめる長浜らしい文化芸術の創造

- 施策① 誰もが文化芸術を体験できる機会を充実させる
- 施策② 地域資源と融合した長浜独自の文化芸術を創造する
- 施策③ 文化芸術の質を高める仕組みを構築する

育てる 文化芸術感覚の醸成

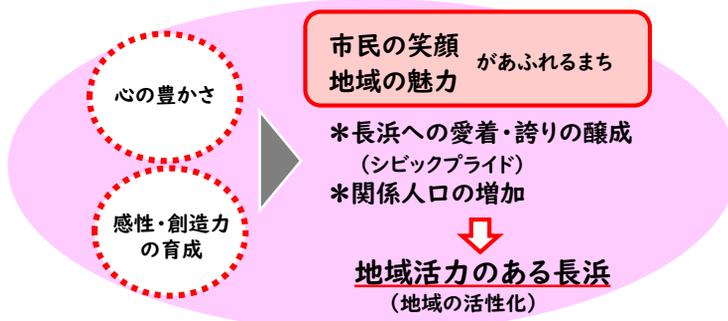
- 施策① 次代を担う子どもたちや若者たちの感性や創造力を育成する
- 施策② 地域固有の伝統文化を継承・育成する
- 施策③ 日々の暮らしの中にある「アート感覚」を育成し、
市民生活をより美しく充実させる

支える 市民や文化芸術団体の主体的な活動の支援

- 施策① 市民が主体となる多様な文化芸術創造事業を推進する
- 施策② 文化芸術活動をサポートする機能を充実させる
(長浜市民文化芸術創造協議会の機能強化)
- 施策③ 市民が利用しやすい文化芸術活動の場を整える
(文化ホール等の活用整備の推進)
- 施策④ デジタル環境の整備と情報発信力を強化する
- 施策⑤ 文化芸術団体の主体的な活動を支援する

つなぐ 文化芸術により 人や地域等が
つながるコミュニティの形成

- 施策① 市民や活動する人、文化芸術団体の交流機会を創出する
- 施策② 他分野との連携による文化芸術の新たな価値を創造する



第8章 本ビジョンの推進体制

活動主体の連携強化

文化芸術の発展・振興のために、主役である市民と文化芸術団体、長浜市民芸術文化創造協議会などの様々な活動主体が、それぞれ役割を担い、連携を図る。

ビジョンの評価

文化芸術関係者と学術経験者、市民代表等からなる「(仮称)文化芸術振興会議」を年定期的開催し、本ビジョンの進捗や方向性の確認を行う。また、「市民意識調査」等により、文化芸術に対する認識等の変化の推移を確認していく。